

平成 30 年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
保健体育	保健	1	2-1~2-A

1. 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたっての健康づくりという観点から、自分自身で健康的な生活習慣を作りあげる事を重視し、将来の生活においても十分に活用できるようにする。 ・保健の授業を通じて生徒の人権感覚を高められるようにつとめる。

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	2. 生涯を通じる健康 (1) 思春期と健康 (2) 性意識と性行動の選択 中間考査 (3) 結婚生活と健康 (4) 妊娠・出産と健康 期末考査	子どもから大人への移行期に当たる思春期には、性意識が大きく変化する時期であることを理解させ。またどの異性との人間関係や性情報に対して、どのようなことに配慮した行動が必要かを理解させる。
2 学 期	(5) 家族計画と人工妊娠中絶 (6) 加齢と健康 (7) 高齢者のための社会的取り組み 中間考査 (8) 保健制度とその活用 (9) 医療制度とその活用 (10) 医薬品と健康 期末考査 (11) さまざまな保健活動や対策 3. 社会生活と健康 (1) 大気汚染と健康	自己の心身の健康、安全、家庭、職場、地域の生活の健康安全、国民の健康知識と安全の確保、生活の実践に寄与する能力と態度を育成する。 思春期から中高年期までの健康に関わることがらについて学ぶとともに、私たちの健康を支えている保健・医療のしくみや、それらの活用のしかたなどについて学ばせる。 私たちが健康に生きていく上で、自然環境や社会の制度、活動が密接に関わっていることを理解させる。
3 学 期	(2) 水質汚濁・土壌汚染と健康 (3) 健康被害の防止と環境対策 学年末考査	生徒の基礎知識と授業の理解度を深める。

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	考査による評価、提出物等授業態度による
------	---------------------

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	運動の実践に必要な公正、協力、責任などの態度を身につけ、意欲的・計画的に運動をしようとするとともに、明るく豊かで活力ある生活を営もうとする。また、個人生活や社会生活における健康や安全に関心を持ち、意欲的に課題を解決しようとするとともに健康で安全な生活をしようとする。	運動の特性に応じた課題の解決を目指して、運動の合理的な行い方や計画的な活動の仕方を考え、工夫している。また、個人生活や社会生活における健康・安全について科学的に考え、正しく判断している。	各種の運動の特性に応じた技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、体力を高めるための運動の合理的な行い方を身につけている。	運動の特性と合理的な行い方及び生活における運動の必要性和意義を理解し、知識を身につけている。また、現代社会と健康、環境と健康、生涯を通じる健康、集団の健康に関する事項を理解し、健康の増進を図る知識を身につけている。

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	現代高等保健体育 改訂版 (大修館)
副教材	現代高等保健体育ノート 改訂版